

令和5年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 実施状況一覧

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
1	神戸市	SNSとAIを活用したキャリアカウンセリング・キャリアアップサポート事業	<p>就職氷河期世代の求職者・転職希望者を対象に、家に居ながら又は働きながらも正規雇用やキャリアアップに向けた活動が行えるよう、時間と場所を問わないSNSを活用したオンライン就労支援サービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職者数(非正規を含む) R5目標:200 R5実績:91 <p>LINE広告を中心としたマーケティングにより毎月一定数、新規の友達ユーザー数を獲得できたが、一方で求職者のニーズに合った求人獲得が不十分であることなどから就職決定数が伸び悩み目標達成には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング受講者数 R5目標:1,500 R5実績:4,768 <p>定期的な訴求力の高い求人コンテンツの配信、初期質問の回答負担軽減や友達登録後からカウンセリング予約までの導線改善による利便性の向上等により、目標値を大幅に達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの友達ユーザー数(時点) R5目標:10,000 R5実績:24,637 <p>昨年度に引き続きLINE広告を中心としたWebマーケティングを強化した結果、毎月800~1,200の新規登録数を獲得し、目標値を達成することができた。</p>
2	神戸市	ひきこもり状態等にある方の就労支援充実	<p>社会との再会段階にある居場所参加へ戸惑うひきこもり状態の本人が、社会参加の第一歩を踏み出すことができるようICT(分身ロボット等)を積極的に活用した。また、地域若者サポートステーションにおいて就職氷河期世代の無業者に対して心理カウンセリングを行い、結果を踏まえてサポステの適切な支援プログラム等へつないだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加者数(居場所等への参加者数) R5目標:10 R5実績:14 ・地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリング実施件数 R5目標:50 R5実績:50
3	神戸市	氷河期世代の転職・再就職及び市内企業人材確保の同時的推進事業	<p>正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者に対して、就業に必要な知識やスキルの向上を図るとともに、就職先を決める前に実際の業務内容や職場環境を自身の目で確認する機会(職場体験・見学)を提供することで、ミスマッチのない転職・再就職等の促進及び市内企業の人材確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業者数(正規雇用、正規雇用を前提とした非正規雇用) R5目標:20 R5実績:15 <p>個別就職相談の随時受付によるきめ細かな伴走支援や、企業との交流会の実施による氷河期世代の採用に積極的な企業とのマッチング機会の創出等により、昨年度実績(3)を大きく上回ったが、職場体験・見学参加者数の伸び悩みもあり目標達成には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場見学・体験人数 R5目標:80 R5実績:56 <p>本事業の特設サイトに職場体験・見学の受入企業一覧を掲載し参加者の募集を行うとともに、就職支援プログラムや個別就職相談にて周知を図ったが、求職者のニーズにあった受入企業の獲得不足などから参加者数が伸び悩み、目標未達となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援プログラム・個別相談での支援者数:R5目標:250 R5実績:374 <p>就職支援プログラムは就業中の方向けと無業の方向けの2つのプログラムを用意し、それぞれのニーズにあった内容や運営を行うことで多くの参加を見込むことができた。また、個別就職相談を随時受付にすることできめ細かい伴走支援に繋がり、目標値を達成することができた。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
4	宝塚市	就職氷河期世代リモート型就労支援事業	<p>就職氷河期世代のうち不本意ながら不安定な仕事についている方、働きながらキャリアアップを望む方などを対象に、SNSアプリ「LINE」を活用したシステムを開発し、就労に関する相談、キャリアカウンセリング、セミナー情報の配信等、オンライン上で就労支援を実施。提供サービス名は「ヅカキャリア」とし、令和2年10月9日より運用を開始し、令和5年度も引き続き運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業による就職者数(非正規採用を含む) R5目標:15人 R5実績:21人 <p>仕事紹介を希望するユーザーに対して積極的にアプローチするとともに、情報配信の内容や頻度を工夫した結果、目標値を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用件数(キャリアカウンセリング件数及び仕事紹介件数) R5目標:153件 R5実績:658件 <p>SNSアプリ「LINE」上で、利用を促す広告を掲載することにより、毎月一定程度新規ユーザーが流入していることに加え、既存のユーザーへ個別にアプローチした結果、特に仕事紹介面談の利用件数が増え、目標値を達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報配信へのエンゲージメント数 R5目標:17,000回 R5実績:22,497回 <p>SNSアプリ「LINE」上で、利用を促す広告を掲載することにより、毎月一定程度新規ユーザーが流入し、情報配信に対するエンゲージメント数が非常に多くなった。</p>
5	川西市	就職氷河期世代就労支援事業	<p>氷河期世代に向けた面接指導、履歴書の書き方、自己PR等を指導するキャリアカウンセリングの実施、就労を希望している無業の方に職業体験の機会を提供する就労体験プログラムの実施及び自分に合った働き方に関する動画配信、セミナー、座談会、個別相談会の実施をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じた就業者数 R5目標:14人 R5実績:3人 <p>連携が進んでいる反面、就労困難者へと層が変わり、伴走支援が長期化したことで、就職者数が伸び悩んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業受講者数のうち氷河期世代の人数 R5目標:46人 R5実績:46人 <p>チラシや広報誌などの従来の周知方法に加えて、市のSNSでの周知や、合同就職面接会へのブース出展などを実施することで、より効果的な周知を実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記就労した者のうち正社員及び常勤職員となった者の人数 R5目標:7人 R5実績:1人 <p>人材不足の継続や就職情報サイト等の民間事業の充実により、本事業の対象者は、より手厚い支援が必要な層へと移行してきており、より長期にわたる支援が必要であるため、正社員及び常勤職員としての就労まで達しなかった。</p>
6	猪名川町	就職氷河期世代就労サポート事業	<p>就職氷河期世代の方を対象とした毎月1回の個別相談窓口の設置、及び年間8回の就労支援セミナーの開催によって、就職のための準備から職場定着・ステップアップまでの継続的な支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援事業につなげた人数 R5目標:10人 R5実績:25人 <p>HPやSNS等での広報に加え、関係機関への周知協力依頼等、積極的な広報活動により広く事業を周知することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業者数(勤務形態問わず) R5目標:2人 R5実績:6人 <p>スキルアップを目的としたセミナーの開催により、求職者のモチベーション向上に繋がり、就業者増に結びついた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業者のうち正規雇用及び常勤職員数 R5目標:1人 R5実績:2人 <p>スキルアップを目的としたセミナーに参加されたことで自信に繋がり、正規雇用に繋がった。</p>
7	明石市	就職氷河期世代活躍支援事業	<p>現在仕事をしていない就職氷河期世代の方々の就職を実現させるため、能力向上を目的としたセミナー(5回)・相談会(1回)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・相談会への参加後に就職決定した人数 R5目標:8 R5実績:10 <p>連続講座という形式に出席することで、毎回ステップアップする機会ができ、前向きに就職活動に取り組むようになったと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・相談会への参加後に社会参加が決定した人数(通いの場、就労準備訓練等への参加に繋がった人数) R5目標:2 R5実績:1 <p>一般就労が難しいと思われる方には福祉的就労を提案していくが、障害を受容することに抵抗がある人が多く時間を要するため、この短時間では実績に結びつかなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・相談会等への参加人数 R5目標:30 R5実績:24 <p>市HPや広報紙に加え、チラシやパンフレットを配付などの手法で広報を行ったが、参加者数が伸び悩んだ。</p>
8	香美町	香美町ひきこもり者等就労支援事業	<p>就職氷河期世代に存在する就職できずにひきこもりになった方や障害が理由で就労の場が与えられなかった方に対し、就労体験を通じた社会参加を促進するため、就労準備支援金を支給した。</p> <p>また、事業者の理解促進やひきこもり者等の職場定着支援を目的として、就労体験の場の提供及び就労を受け入れた事業者に対して助成金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加者数(本事業により就労体験を実施した者、就労に至った者の人数) R5目標:5人 R5実績:2人 ・就業者数(本事業により、正規雇用、非正規雇用、自営・起業・内職等に至った人数) R5目標:5人 R5実績:2人 <p>就職氷河期世代の求職ニーズと登録事業者の求人ニーズの乖離により目標達成に至らなかった。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
9	兵庫県	ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業	市町を対象としたひきこもり支援勉強会を実施することで市町の居場所設置を推進し、県内に多様な居場所を確保する観点からインターネット環境を活用した電子居場所の設置した。また、自宅から居場所へのつなぎ支援のため、家族支援プログラムの人材養成研修及び電子媒体によるひきこもりを抱える家族交流会事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加者数(電子居場所への延べ参加者数) R5目標:400 R5実績:882 令和2年度から毎年企画提案コンペにより事業実施者を決定していることから、各事業者共に実施内容や広報手法等に創意工夫を行った結果、広く事業を周知することが出来た。 ・居場所を設置する市町数 R5目標:32 R5実績:26 財政的・人的な観点から目標には達していないが、「ひきこもり支援勉強会」等において市町に対して国庫補助制度の活用事例の紹介を行うなどにより着実に居場所設置市町数は増加してきている(R1:3、R2:12、R3:20、R4:23)
10	兵庫県	起業家支援事業 就職氷河期世代枠	就職氷河期世代のうち、本人に合った形での就労や社会参加が可能となるよう、起業を考えている方に対して立上げ経費の一部を支援することで、安定した起業及び事業運営のサポートを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業を活用した就業者(起業家)数 R5目標:20 R5実績:11 県内対象者に向けたチラシ配布や県内のコワーキング施設での説明会を行ったものの、他の枠に応募が流れ応募件数が低迷した。 ・当該事業の活用による起業に伴う新規雇用者数 R5目標:10 R5実績:2 スモールビジネスによる起業が多く、創業まもない段階では創業者単独で事業運営するケースが多いため。
11	兵庫県	ミドル世代就労支援事業	兵庫県が委託運営する、ひょうご・しごと情報広場にミドル世代就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代の抱える課題を踏まえ、キャリアカウンセリングから段階的な就職支援プログラムを実施し、個々の状況や適性に応じた就職支援を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうご・しごと情報広場におけるミドル世代のうち就職氷河期世代の就労相談件数 R5目標:400件 R5実績:601件 求職者に相談窓口を利用してもらうため、HW等関係機関と連携を密にする等、窓口の広報に力を入れた。 ・ひょうご・しごと情報広場の支援によるミドル世代のうち氷河期就職世代の就職者数(正規雇用、非正規雇用) R5目標:10人 R5実績:18人 レベルアップ就労支援プログラムやミニマッチング会の開催回数を増やす等、各個人の状況に合わせた支援や就職しやすい環境整備を行った。
12	兵庫県	就職氷河期世代等就労支援プログラム事業	就職氷河期世代のうち不安定就労者や未就職者等を対象に、安定就労に向けた就職活動を支援するため、ビジネスマナーや履歴書作成等の研修と企業とのマッチング等の就職活動支援を組み合わせた人材育成プログラムを実施し、就職氷河期世代の活躍支援を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム参加者中の就業者数(非正規を含む) R5年度目標:15名 R5年度実績:19名 キャリアコンサルタントによる複数回の面談によって、真摯にプログラムに参加し、就労意欲のある参加者を選考したため目標を達成した。 ・プログラムに参加者中の就業者数の中の正規雇用者数 R5年度目標:8人 R5年度実績:10人 プログラム終了後3ヶ月間は個別相談、並びに報告会(月1回)を実施した。非正規雇用で就職したプログラム参加者には、正規雇用を目指して定期的に個別相談を実施した。また未就職者には法人が運営する就労相談窓口3拠点でキャリアコンサルタントによる個別相談を実施し、支援を継続した。 ・プログラムへの就職氷河期世代の参加者数 R5目標:25人 R5実績:24人 応募者数52名の中から十分に就労意欲やプログラムへの参加意欲のある者を選抜してプログラムを実施した。
13	兵庫県	おためし企業体験事業 in HYOGO	就職氷河期世代の求職者等に対し、県内企業をおためし体験できる機会を提供することにより、求職者の適性に合った企業への就職を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業体験を通じた就職者数(正規雇用) R5目標:10人 R5実績:0人 企業体験への参加はあったが、現在の希望には合わないなど体験直後の就業には結びつかなかった ・企業体験への体験者数 R5目標:150人 R5実績:321人 年度当初から体験期間を確保し、全体スケジュールの調整をしながら、効率的・効果的に事業を実施した。

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
14	兵庫県	氷河期世代向け合同企業説明会事業	<p>就職氷河期世代に特化して合同企業説明会や企業情報提供の場を提供し、県内企業の魅力を知ってもらうことにより、就職氷河期世代と県内企業とのマッチングを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会及び就職支援セミナー参加者数 R5目標:150人、R5実績:228人 兵庫県労働局・近畿経済産業局と共催し、広報協力を密に行なったため、広く周知することが出来た。 ・合同企業説明会をきっかけにした就職者数 R5目標:10人、R5実績:24人 <p>対面型で様々な業種の企業が参加したことにより、求職者のニーズに合った企業のとマッチング機会を確保できた。</p>
15	兵庫県	就職氷河期世代のこころの健康電話相談事業	<p>精神保健の中核的専門機関である精神保健福祉センターに就職氷河期世代向けに特化した相談窓口を設置して、年間を通じて相談を受けている。相談事例については、必要に応じて関係団体との個別ケースの連絡調整会議を開催するほか、県民の身近な窓口である市町へフィードバックするなどしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代のこころの健康問題の相談件数 R5目標:230人 R5実績:230人 ・個別ケースの連絡調整会議の開催数 R5目標:5回 R5実績:1回 ・連絡調整会議から社会参加へつながった者の数 R5目標:3人 R5実績:4人 <p>連絡調整会議の開催回数は、目標を下回っているが、本事業の目的とする就業や社会参加に繋がった者の数は、目標を上回る実績となっており、事業の実施の成果はあがっている。</p>

令和 5 年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業実施状況に対する意見等

[令和 6 年 7 月 16 日 兵庫県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム運営会議]

意見等	事務局回答
意見なし。	